

白石区ふるさと祭り

家族連れでにぎわう

白石区ふるさとまつり

白石区ふるさと会（会長・武藤征一ムトウ建設工業社長）は14日から2日間、白石区役所駐車場で白石区ふるさとまつりを開催した。過去最多の3万7000人が来場し、夏を楽しむ家族連れや子どもたちでにぎわっていた。

ことが37回目。同会が主催し、地域住民や団体が企画運営する夏祭り、白石厚別建設協会の会員企業も毎年協力している。

会場には多くの屋台が出店し、盆踊りやクイズ、



ビンゴ大会などさまざまなイベントが催された。宮城県白石市との交流企画として、2011年に引き続き、片倉鉄砲隊の6人が駆け付け、冒頭で「白石市と深く関わりを持ち、そして連合町内会や企業、団体、区民、区役所など地域が一体となって企画する特徴ある祭り」とあいさつし、

祭りに華を添えた武者姿の片倉鉄砲隊

甲冑（かっちゅう）をまとった武者姿でステージに登場。白石区職員なども加わり、火縄銃に点火する様子を披露した。

武藤会長は

今後も地域主体のまちづくりと白石市との交流を続けていく考えを表明した。

